

■気温の寒暖の差が激しくなっておりますが、いかがお過ごしでしょうか。またしても遅れてしまいました。21巻1号をお届けいたします。

■今号は、本年度の時間生物学会学術奨励賞に輝いた3人の先生方、山伸先生、松永先生、大林先生にそれぞれに力のこもった総説を書いていただきました。ぜひ若手の熱い筆致をご堪能ください。また、昨年度のシンポジウムに関連して、昨年度まで長きに亘って本学会事務局長としてご尽力いただきました、海老原先生に、時間生物学の現状とこれからに関して纏めていただきました。そして、新たに事務局長を引きついだ糸先生による巻頭言も示唆に富む名文。新旧事務局長の競演をお楽しみください。

■前号に引き続き、今号もまた訃報をお届けしなくてはなりません。本会会員ではありませんが、ショウジョウバエの*period*遺伝子座の発見者、Ron Konopka博士(1947-2015)が今年亡くなり、また、*period*遺伝子のクローニングに成功したMike Young教授の下で、その後のショウジョウバエの概日リズムの解析を大きく花開かせた功労者の一人、Lino Saez博士(1954-2014)も昨年末にお亡くなりになりました。今号では、とくにSaez博士の訃報に際し、霜田先生、Young教授からメッセージを寄せていただきました。博士らの偉業に思いを馳せながら、一層この分野の進展を祈願したいと思います。

■今号の表紙は、新進気鋭のバイオメディアアーティスト、石橋友也さんの『金魚解放運動』と名付けられた生命科学とメディアアートの境界領域プロジェクトを象徴するイメージをお寄せいただきました。生命と人間と美との関わりの表徴としての金魚、それをシンプルかつ強力なコンセプトで実験、作品化、映像化したプロジェクトは、ここ数年バイオアート界の斬新な試みとして大きな注目を集めました。Youtubeでも関連動画があがっていますので、金魚解放運動で検索してみてください。

時間生物学 Vol. 21, No. 1 (2015)

平成27年6月31日発行

発行：日本時間生物学会 (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsc/index.html>)

(事務局) 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院 生命農学研究科

応用分子生命科学専攻 海老原史樹文研究室内

Tel : 052-789-4066

(編集局) 〒162-8480 東京都新宿区若松町2-2

早稲田大学先端生命医科学研究センター

(TWIns) 1F 岩崎秀雄研究室内

Tel : 03-5369-7317 Email : [hideo-iwasaki@waseda.jp](mailto:hideo-iwasaki@waseda.jp)

(印刷所) 名古屋大学消費生活協同組合 印刷・情報サービス部